

幼児クラス（3・4・5歳児）

活動人数 14名

活動日 令和7年2月19日

活動時間 10:00-11:00



テーマ

秋の自然に触れ合う！

<テーマの設定理由>

秋になり、木々に変化が訪れてきました。浜町公園にも自然変化が起きており、「色が変わってる」「実が落ちてる」と興味津々の子ども達。公園内の落ち葉遊びや探求が始まりました。発見をもとに色々な変化や感触を見つけ、ワクワクを感じていく活動を記録しました。

どこで何をする？

<活動スケジュール>

● 保育室（本園）

● 自分たちで作ったものを使い
● ごっこ遊びを楽しむ

何が必要？

<環境デザイン・俊美物・環境設定>

● カメラ（記録用）

● 皿・コップ等 拾ってきた自然物

● 紙粘土 キッチン

● カラーボックス

実践記録

<活動内容>

拾ってきた素材を使ってお店屋さんごっこをしよう！

【ごっこ遊び編】

【2025年2月19日】 温度22.6度 湿度25%



紙粘土と自然物を使いお店屋さんで使えるようなものを作った。

葉っぱを三角や四角等にして目や耳にしたりどんぐりと粘土を合わせてお菓子を作っていた。

「この葉っぱ使ってもいい？」

『うん、いいよ。何作るの？』

「見て、葉っぱを具にしてピザ作るの」

『うわあー、美味しそう！』

「僕はね、今お団子つくってるの」

「私は猫のお菓子作ってるよ」

「え、〇〇ちゃんのやつ可愛い」

「わたしも作る！！」とそれぞれ想像力を

膨らませながら

紙粘土と自然物を組み合わせて作っていた。



みんなで色を塗ったキッチンと落ち葉や木の棒を使って
作ったお団子やピザ等のごはんを棚に並べた。

お店屋さんの用意ができたのでお客さんと店員さんに
分かれた。

「わたしここでピザ売る人やる」

「僕はこっちやる」とそれぞれの持ち場に分かれた。

年長がリーダーシップを取り

「〇〇ちゃんはこっちに来て、〇〇くんはあっちの方が
いいかも」と人数が偏らないように分かれていた。



お店屋さんがスタート！

「いらっしゃいませ、どれがいいですか？」

「このピザがいいです」

「これください」

「これ～円です」

「ありがとうございます。」等やり取りをしながら
お店屋さんごっこを楽しんでいた。



特に自分で作ったものには親しみを持ち

「これおすすめです」と積極的に売ったり

「これください」と自分で買う姿が見られた。

食べ終わると

「美味しかったです」

「ごちそうさまでした」と店員さん役にお礼を
言っていた。





「いっぱい買えたね」
「あっちで一緒にたべよう」とテーブルへ向かっていた。

中には年長がリードしてあげる姿があり
「一緒にあっち行って座って食べよう」
「これあげるよ」等一緒にお買い物を楽しんでいた。

お買い物が終わり買った物をテーブルへ持ってくると
友達や保育者と会話を楽しみながら食べる真似をしていた。



ごっこ遊びをしている中で「お金が欲しい」と
いう意見が出てきて
自分で以前作ったお金を持ってくる児もあり
よりお店屋さんごっこがリアルのお店屋さん
に近づいた。



振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

紙粘土を使い食べ物を作っている時は細かく手でちぎりピザの具材に見立てたり、三角に切って目や耳に見立てたり等自然物を上手く切り取り活用していた。
形をそのまま活用する姿もあり木の棒をポッキーや団子の棒に見立てたり、落ち葉を桜餅の葉に見立てたりなど柔軟に考えながら身のまわりにあるものに見立てていた。

ごっこ遊びでは年長がリードしながら進めていた。途中でエプロンやお金を用意したりとより本物のお店屋さん
に近づくようアイデアを出しながら行っていた。

子どもたちは普段の大人のやり取りをしっかりと見ていると改めて実感し、より近づくためにはなにが必要か意見を出し合いながらたのしんでいた。子ども達の柔軟な考えを大切にしながら今後も活動していきたいと思った。